

令和7年度農林水産部人材育成・確保計画（概要）

1 策定の背景・位置づけ

- ・令和6年9月に大分県農林水産業振興計画「おおいた農林水産業元気づくりビジョン2024」を策定
- ・本ビジョンの基本目標である「自ら考え・動き・みんなで実現する元気な農林水産業」の実現のためには、職員自身の成長と組織の活性化が不可欠

2 人材育成・確保における現状・課題

- ・新規採用職員の増加
- ・様々なキャリアを持つ新規採用職員の増加
- ・普及指導員の役割の増加
- ・班総括の役割の増加・係長級職員の不足等による影響
- ・育児休業等の取得促進
- ・高齢期職員の増加
- ・幅広い職務経験の必要性（ジョブローテーション）
- ・人材の確保



以下の取組により計画的に職員の人材育成及び確保を進める。

3-1 人材育成の取組

（1）研修による人材育成

【重点研修項目】

- ①若手職員を中心とした基礎力定着
- ②中堅職員研修
- ③班総括研修
- ④新たな農林水産業の課題解決力の向上
- ⑤その他

（2）成果を生み出し努力する職員が報われる人事配置



▲研修の様子



3-2 人材確保の取組

- （1）インターンシップの充実・受入強化
- （2）積極的なリクルート活動
- （3）受験者確保に向けた試験制度等の工夫
- （4）ベテラン職員の活躍



▲インターンシップの様子



3-3 職場環境の整備

- （1）部独自の定時退庁日の取組
- （2）目的に応じた会議室の整備・確保

3-4 デジタル人材の育成

- （1）ICTツールを活用した業務改善
- （2）スマート技術に関する知識・技術の習得